



令和5年度 学校便り

与論中だより

令和6年3月1日 与論町立与論中学校

校訓
誠

体協自
力気創
方気力主

主体的に生きる ～「○○しましょうか。」～

校長 徳重 正宏

令和5年度の幕がまもなく閉じようとしています。振り返ると今年度、新型コロナが5類に引き下げられ、社会が次第に以前の状況を取り戻してきました。もちろん、この間で様変わりしたことも出てきており、これからの時代に即した変化を遂げていると感じています。

そして、その時々への対応を通して学んだことも多くありました。そんな中でこんな言葉を見つけました。



「二流は環境に文句を言う。一流は環境に適応する。超一流は環境を変（整）える。」

皆さんの周りに環境に文句ばかり言っている人はいませんか。そして、文句ばかり言う人を見ていると人のせいにし、不平や不満を言うだけで自分のやるべきことをやっていない人が多いように感じます。

学者の梶谷真司氏は著書「考えるとはどういうことか ～0歳から100歳までの哲学入門～」の中で「私たちは、自ら考えて決めた時にだけ、自分のしたことに責任をとることができる。」と語っています。

これからの時代は、これまで人が行っていた仕事がAIに半分以上代わるともいわれています。AIは、ほとんどが人の指示（プログラム）で、正確に機能します。人はミスも伴いますので、AIのようにはいかないことも考えられます。となれば、人の強みや価値は何かと考えると、様々な状況を見て、判断し、自主的・主体的に動く力が、これから変化の激しい予測困難な社会をよりよく生き抜き、幸せになれるのではと私は考えています。

平たく言えば、（より良くするために）気づいて動く。ミスは学びに変える。「○○しましょうか。」そんな積極的に関わろうと意識ある人材が求められるのではと思います。

3年生はいよいよ卒業です。与論中学校第76回卒業式が最後の授業になります。この3年間で学んだ力を次のステージで、上述の意識も持って活躍してください。1年生と2年生は、いよいよ進級の時です。先輩方の門出と一緒に祝福し、その姿を目指して与論中学校の新しい歴史と伝統を築くことのできる与論中生になってください。

P T A活動に感謝

令和5年度が終わりを迎えます。P T A活動は、次年度の総会で入れ変わりますが、実質の活動は終了となります。本年度は、新型コロナウイルス感染症も次第に落ち着き、計画通りに活動ができました。会長さんをはじめ、各専門部長さん、そして会員の皆様の御協力と御支援に感謝いたします。誠にありがとうございました。与論中は、P T Aと地域、学校が一体となって生徒を育てていると実感します。次年度もどうぞ変わらぬお力添えをよろしくお願いいたします。

※ 転出やその予定（可能性）がある場合は、学校（担任等）へお知らせください。

これからの学校生活を充実！！

2月上旬に行った学校教育に関するアンケートについて回答への御協力ありがとうございました。結果について掲載します。

4:とてもそう思う 3:少しそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

番	評価項目	上位2割		下位2割		平均
		生徒	保護者	職員	職員	
1	意欲的に取り組む授業。授業(主体的・対話的・深い学び)にいかすための研修等。	3.1	3.0	3.5		3.2
2	分かりやすい授業やまとめ、授業充実の3ポイント(目標の明確化、山場の工夫、確かめ見届け)の取組。	3.3	2.9	3.2		3.1
3	学力検査等の課題の把握・分析、改善と学力定着のための取組。	2.9	2.5	3.4		2.9
4	生徒の特性を踏まえ、個に応じた指導。	3.3	3.0	3.3		3.2
5	家庭学習(日常課題、週末課題、読書等)の充実。	2.7	2.6	2.9		2.7
6	人権教育を基盤にいじめや差別のない教育の実践。	3.6	3.5	3.5		3.6
7	「命の大切さ」「誠の心」「思いやりの心」「自他を尊重する心」の育成。	3.5	3.5	3.5		3.5
8	家庭や関係機関と連携した不登校生を生まない広げない取組の継続。	3.5	3.2	3.4		3.4
9	生徒会活動(学級、学年を含む)取組の充実。	3.4	3.4	3.3		3.4
10	保健指導、食育・給食指導、体力向上の指導、安全指導(交通事故・海難事故防止等)についての取組。	3.4	3.3	3.6		3.4
11	海洋教育(小中高連携、「島だち」に必要な力、レポート等)を充実させるための活動・取組。	3.4	3.4	3.4		3.4
12	学級、学年、学校の様子、進路情報等の伝達・提供。	3.0	3.4	3.4		3.3
13	清掃指導の徹底、学校の環境美化と安心・安全な学校。	3.5	3.5	3.3		3.4
14	服従規律の厳正確保、生徒や保護者、地域の方への丁寧な接遇。	3.4	3.4	3.6		3.5
15	PTA活動において、活動方針(メディアキャッチフレーズ:9時だよ!接続終了等)の意識した取組、地域行事等への参加。	2.3	2.7	2.9		2.6
平均		3.2	3.1	3.3		3.2

保護者・生徒・職員の全体平均が「3.2」と高評価でした。「豊かな心・健康な体の育成」の6,7番や「信頼できる学校の創造」の14番について保護者・生徒・職員の平均が「3.5~3.6」と高評価でした。1学期は、地区中学校道徳教育研修会の授業公開があり、2学期以降もエリア推進スクールの指定を受け、授業を公開するなど授業力向上の取組を継続できました。「確かな学力の育成」の3,5番については、平均「2.9」、「2.7」と「3.0」を下回る結果でした。学校では「個に応じた指導」の充実に努めて参ります。そんな中でも鹿児島県学習定着度調査では県比較110ポイントに近づく成果をあげることができました。家庭での学習への励ましの声かけ等、ありがとうございました。

15番については、平均「2.6」の評価でした。生徒の振り返りでも「メディア使用時間を減らしたい」「メディアに関わる時間を9時に終了できるようにしたい」等の反省が見られました。1学期末はPTA生活・保健委員会と生徒会保体委員会が中心となり「家庭のメディアルール」について取り組みました。また、2月3日(土)の町PTA研究大会では、メディアをコントロールするためのPTAの取組を発表しました。今年度残り僅かな学校生活や新年度へ向けて継続して生活リズムを整えていけるようにしていきます。

保護者からは、1回目のアンケート同様、1「持ち物の持ち帰り」、2「自尊感情・自己肯定感」等の御意見がありました。1については、「学校においてよい教材一覧」がありますので、再度、御家庭でも御確認をお願いします。2については、これまでと同様に継続して生徒個々の特性やTPOを踏まえ醸成して参ります。御家庭でも生徒の自尊感情や自己肯定感が高まるよう温かい声かけと見守り、見届けを今後ともよろしくをお願いします。

4月の行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	8	月	新任・始業式、入学式、1年PTA	4	17	水	家庭訪問(与小校区~18日)
4	9	火	生徒会ガイダンス、身体計測等、交通安全教室	4	18	木	3年全国学調(質問紙:4/17オンラインCBT、国語・保護者:5/14筆記方式PBT)
4	10	水	標準学力検査(~11日)、1・3年知能検査	4	19	金	家庭訪問(茶小校区)(与小PTA総会)
4	11	木	浜下り(午前授業:給食なし)	4	22	月	PTA理事・評議員会
4	12	金	(茶・那小PTA総会)	4	25	木	家庭訪問(那小校区~26日)
4	15	月	2・3年PTA	4	30	火	避難訓練
4	16	火	家庭訪問(茶小校区)	5	1	水	授業参観・PTA総会

今、何ができる？

先月は、「やる」という気持ちを強く持つために「覚悟」と「目標」が必要で、自分自身で「覚悟をもつ」ことが大切だと書きました。今月は、「目標」について書きます。皆さんは、学習目標を決めるときにどんな目標を立てますか。人は、長時間「体」や「頭」を使うと疲れたり、集中力がなくなってきたりします。「あきらめてしまう弱い自分」に打ち勝つことができないものです。スタートと終了時間、取り組む内容を決めて取り組んでみてはどうでしょうか。さっと始めて、時間を決めて終わらせることで効率的に集中力を高めて取り組むことができます。始めと終わりの時間を決めることがポイントです。だらだらなかなか始まらない、だらだらいつまでも終わらないということがなくなります。この内容(課題)を何分以内に終わらせる。「自分自身に勝つ」ではなく、「時間に勝つ」時間と勝負してみてください。

※ 転出やその予定(可能性)がある場合は、学校(担任等)へお知らせください。